

チャレンジ・ザ
Challenge the

糸かけ曼荼羅

糸かけ曼荼羅は曼荼羅アートの一つです。サンスクリット語の「mandala」には「円」「manda」には「本質」の意味があり、円形の作品には作り手の本質が表れるとも。今回は、冬さんが体験しました！



★チャレンジャー
冬号なので...
冬さん

★マスター
(一社)糸かけ曼荼羅協会
代表理事
吉川あい子さん

意気込みをどうぞ！

展示会で作品を見て以来、興味があったので体験できてうれしい♪でも、不器用なので不肖も半分...

【協力】

一般社団法人
糸かけ曼荼羅協会

イロトリドリな糸かけ曼荼羅の魅力と作り方を発信しています。 <https://itokake-mandala.com/>



取材は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施の上で行いました。

Let's Start!!

1 糸かけ曼荼羅のことを知ろう

糸かけ曼荼羅とは、木製の板に釘を打ち、一定の法則に従い釘に糸をかけて表現した曼荼羅模様を指します。その起源は、ルドルフ・シュタイナー(1861-1925)が提唱した「シュタイナー教育」の中で、子どもたちが掛け算や素数について学ぶ際に、理解が深まるようにと、糸をかけながら「見える化」して指導したことが始まりという説が有力です。今なお教育現場で活用される一方で、近年ではアート作品として楽しむ人が増加中。また、自分好みの色の糸を、一定のリズムでかけていく工程を体験した人々からは「スッキリした」といった声も多く聞かれることから、ストレス解消効果も期待できそうです。さらには、数字を数え、指先を使うことから、認知症予防にも効果があるとされています。



見た目は複雑でも
工程はシンプル！

2 糸かけ曼荼羅にチャレンジ!

今日は
約2時間の
コース!



〈使うもの一式〉

- ・糸(好きな色5色)
- ・真ちゆう釘(長さ19mm)
- ・金づち
- ・穴あき板(15cm×15cm×9mm)
※釘を打つ位置にあらかじめ穴があいた板
- ・ネイルガイド
- ※釘を均等の深さで垂直に打つためのもの
- ・マスキングテープ
- ・はさみ ・瞬間接着剤

今回は「初心者向け」の最もベーシックな32本の釘を使った作品を作ります。一見、難しそうですが、吉川マスターいわく「数字が15まで数えられれば誰でも作れます」とのこと。それでは **Let's challenge!**

〈主な手順〉



1 ネイルガイドを使い、
金づちで釘を板に
打ち込む

2 糸をかける順番(配色)を決める

冬さんは、中央から外に向かって、白群(びやくぐん:白っぽいグレー)、淡香(うすかう:淡いオレンジ)、秘色(ひそく:濃い緑)、浅葱(あさぎ:濃い青)、空色(そらいろ:水色)の順でかけることに



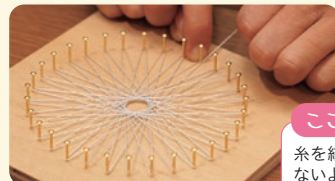
3 起点(中央真上)になる釘に1色目の糸をかける。糸の短いほうは15cmほどの長さにして、板の後ろにマスキングテープで留めておく

4 起点を「0」とし、時計回りに釘を数え、15番目の釘に糸を「く」の字になるようにかけ、かけた釘を新たな「0」とし、起点に戻るまで同じことを繰り返す



興味深い!

糸をかけているうちに法則が見えてきたら、数えずに法則にしたがってOK!
④の手順では、糸をかけた2本隣の釘が、次に糸をかける釘になります。

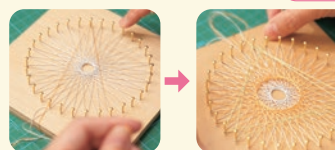


全ての釘に1回ずつ
糸がかかっていれば正解!

ここが難しい!

糸を結ぶときは、糸がゆるまなないように強く引っ張りながら結ぶこと。

5 1色目の糸が起点に戻ったら、15cmほど長めに切り、板の裏に留めておいた糸を外し、糸同士を3回しっかり結び(かた結び)



6 2色目は13番目、3色目は11番目、4色目は9番目、5色目は7番目の釘に、1色目と同じ手順で糸をかけていく

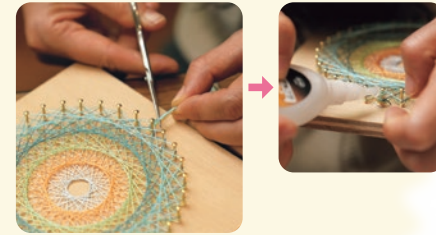
イラスト
たかはしみき



気づくと無性に
なってる...

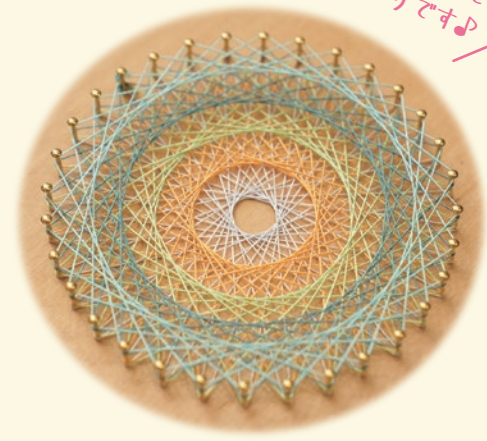
いよいよ仕上げ!

7 5色目の糸を結び終わったら、1色目が1番下、5色目が一番上になるように、糸の高さを整えて立体感を出し、余分な糸をすべて切り、切り口を接着剤で固めて完成!



やれば
できる...

立体感もあって
パツパツです!



飾った場所は
「玄関の靴箱の上」
子どもたちに見せると
「自由研究で作ってみたい!」と
興味津々でした。

★冬さん、いかがでしたか?

お手本を見たときは「不器用な私に本当にできるの?」と思いましたが、先生のおっしゃる通り、ある時点で法則が見えてくるんです。それが分かると、「難しい」という先入観が取り除かれて、集中しつとも楽しめました。達成感でいっぱいです!

3 「輪ゴムかけ曼荼羅」の紹介

教材としても活用できる

図形は数字が織りなす模様です。目で見て、手で触れているうちに、数字の法則を発見したり、図形を面白いと思えたり。「輪ゴムかけ曼荼羅」には、「糸かけ曼荼羅」のように切って結ぶ工程がない分、未就学児でも楽しめます。細かい作業が難しい高齢者にもおすすめです。



★吉川マスターから一言!

色の選択も配色のバランスも素敵です! 人間は「今」に集中するとリラックスするんです。逆に言うとうリラックスしていないと「今」に集中できず「心ここにあらず」の状態になってしまいます。そういう意味でも集中できた冬さんは100点です!

おうちで
チャレンジ!!

材料は自分で
そろえてもOK!



今回のマスター、吉川あい子さんの著書『いろを楽しむ糸かけ曼荼羅』では、より丁寧に説明されています。また、材料は公式Webショップでも購入可能。購入者にはオンライン教室のご案内も。

